

# 期限内で成果を出す巡回指導の在り方

東京学芸大学 教職大学院

准教授 増田 謙太郎



Gakugei 東京学芸大学  
Tokyo Gakugei University

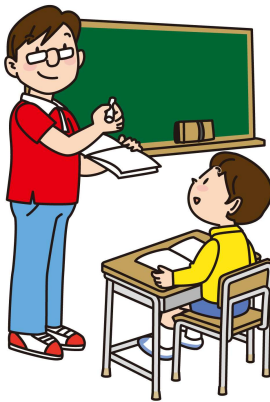
## 子どもの実態



「授業中、離席する」

「落ち着いて学習できない」

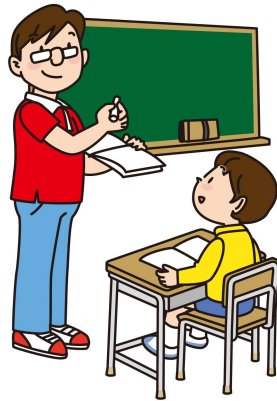
## 「自立活動」の指導



「授業中、離席しないで落ち着いて授業を受ける」ことを  
目標とした指導



## 短期目標（○学期）



「授業中、離席しないで落ち着いて授業を受ける」

## ○学期の評価 よくあるパターン



担任

先生が横についていれば、  
落ち着いて授業を  
受けることができますが、  
先生がいなくなると、まだ難しいようです。

短期目標が達成できていない



東京学芸大学  
Tokyo Gakuai University

一定の期間内に指導の成果が求められるもの



期間内で成果を出す支援の理論

①発達の最近接領域 (ZPD)

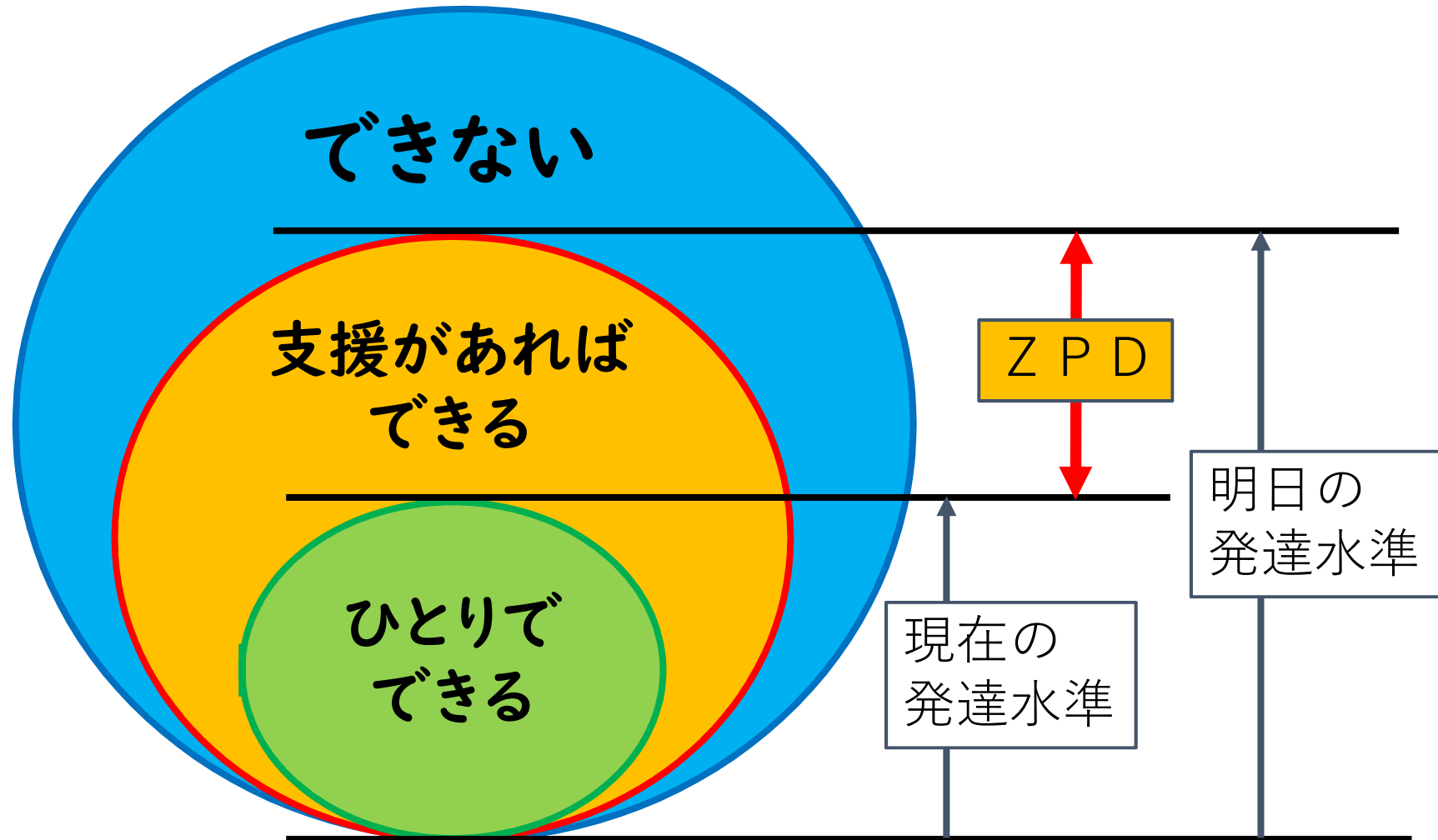
レフ・ヴィゴツキー

②足場かけ支援 (Scaffolding)

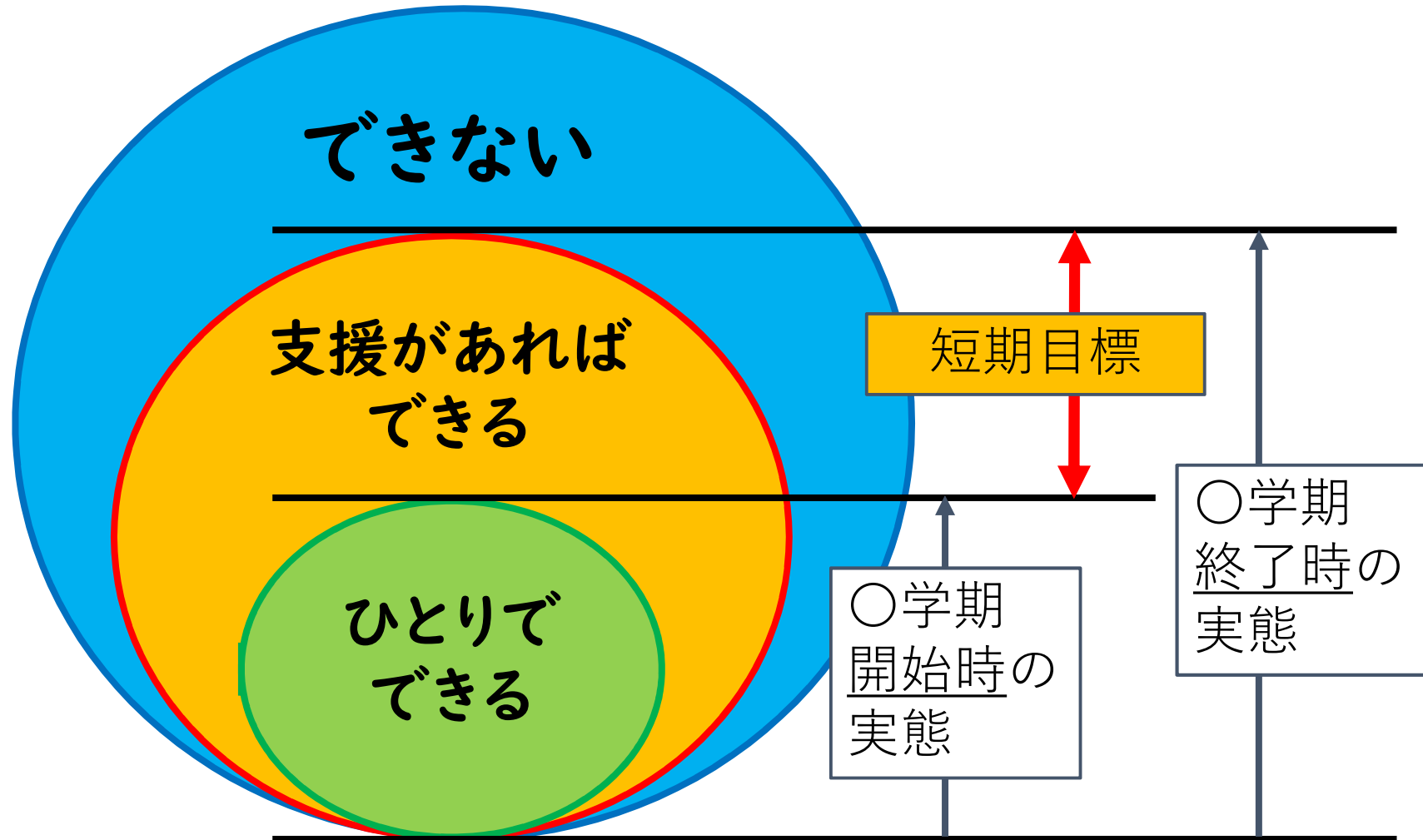
ブルーナーら



# 発達の最近接領域 (ZPD) Zone of Proximal Development



# 「短期目標」に置き換えると・・・



## 期間内で成果を出す支援の理論

①発達の最近接領域 (ZPD) の視点から

支援があればできる「短期目標」を立てる



例えば・・・

- ・自分に合った学習方法を見つける
- ・カーツとなった時の対処の方法を身につける

よくある短期目標・・・

- ・集中力を身につける
- ・コミュニケーションの力を高める



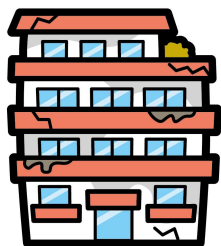
「●●の力をつける・高める」は、ゴールが見えない

期間が決まっている中で具体的な成果は  
出せない





# 足場かけ支援 (Scaffolding)



このマンションをきれいにしてほしい!

「足場」さえあればできます!



できました!

もう足場は必要ありません。



つまり、「いらなくなったら外せる支援」

# 期間内で成果を出す支援の理論

## ②足場かけ支援 (Scaffolding) の視点から

いなくなったら外せる「支援」を考える

### いなくなったら外せる支援の例

- ・用具 (メモ、話型カード、ICT等)
- ・場所 (クールダウン、ついたて等)
- ・人 (介助員等)



短期目標を達成するために

これまでの特別支援教育的発想

子どもの困っていることを改善するには？



これからの特別支援教育の発想

支援があればできる目標は？

いらなくなったら外せる支援は？



「授業中、離席する」  
「落ち着いて学習できない」



すわりましょう!



効き目がない!

仮説(例)

授業中に離席するのは「予定していないこと」  
があると心理的に不安定になるからではない  
か?

自立活動「2 心理的な安定」の視点



## 仮説(例)

授業中に離席するのは「予定していないこと」があると心理的に不安定になるからではないか？



## 支援があればできる目標

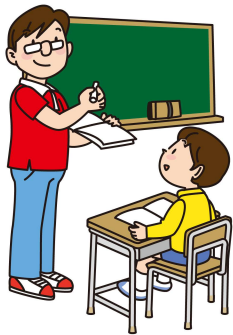
- ・「予定していないこと」が起きた時、落ち着くにはどうしたらいいのかを一緒に考える。
- ・そのアイデアを、在籍学級で使うことができる。

## 支援があればできる目標

- ・「予定していないこと」が起きた時、落ち着くにはどうしたらいいのかを一緒に考える。
- ・そのアイデアを、在籍学級で使うことができる。



## 「自立活動」の指導



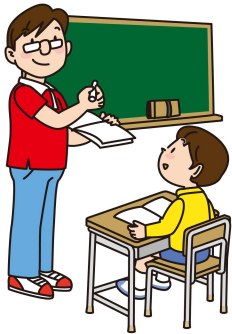
「予定していないこと」が起きた時に  
落ち着くにはどうしたらいいだろう？



水を飲みに行けば落ち着くかも



クールダウンの手法



じゃあ、先生に断ってから水を飲みに行く練習をしよう

足場架け支援 = 自立活動の指導





じゃあ、先生に断ってから水を飲みに行く練習をしよう



足場かけ支援

断ってから水を飲みに行くことができるようになってきた

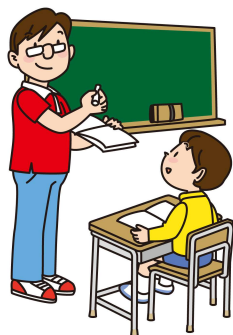


もう、「先生に断ってから水を飲みに行く練習」は必要ないね

足場かけ支援

＝いらなくなったら外せる「支援」





もう、「先生に断ってから水を飲みに行く練習」は必要ないね

足場かけ支援 ＝いらなくなったら外せる「支援」

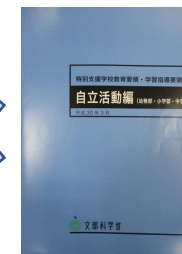


予定外のことがあっても  
落ち着いていられたようになったね



短期目標の達成

①「自立活動」の6区分で見立てる



「2 心理的な安定」かな？

②「仮説」を立てる



③「自立活動」指導を行う

足場かけ支援



④足場を外してもできる

短期目標の達成



東京学芸大学  
Tokyo Gakugei University

# 参考文献

- ・文部科学省(平成30年3月)特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編
- ・深谷達史(2016)『メタ認知の促進と育成 ー概念的理解のメカニズムと支援ー』北大路書房
- ・安斎勇樹・塩瀬隆之(2020)『問いのデザイン 創造的対話のファシリテーション』学芸出版社
- ・大島純・千代西尾祐司(編)(2019)『主体的・対話的で深い学びに導く 学習科学ガイドブック』北大路書房
- ・中山慶一(2020)『家庭、学校、職場で生かせる! 自分と相手の非認知能力を伸ばすコツ』東京書籍
- ・黒田学(編)(2015)『ロシアの障害児教育・インクルーシブ教育』クリエイツかもがわ

